



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A

ICHINOMIYA LIONS CLUB

一宮ライオンズクラブ

国際会長スローガン 「ウィ・サーブ」

一宮LCスローガン 「チャレンジ! 未来へ向けて ウィ・サーブ」

第1510回例会

2019~2020

No.5

例会プログラム

と き 2019年9月11日(水)12:15
ところ 一心
例会担当 マーケティング・コミュニケーション委員会

スピーカーのご入場
開会のゴング
国旗に礼
国歌「君が代」斉唱
「ライオンズクラブの歌」斉唱
「ライオンズの誓い」唱和
「クラブスローガン」唱和
スピーカーのご紹介
会長挨拶
誕生日のお祝い
各委員会報告
幹事報告
スピーカーの時間
アテンダンス報告
テールツイスター報告
「また会う日まで」斉唱
ライオンズローア
閉会のゴング
スピーカーのご退場

次の理事会 (第6回)

と き 2019年9月19日(木)11:00
ところ 一宮商工会議所ビル 402

次の例会 (第1511回)

3R 1Z・2Z ガバナー公式訪問合同例会

と き 2019年9月19日(木)14:15
ところ 名古屋文理大学文化フォーラム
(旧稲沢市民会館)

*バスが一宮商工会議所前12:30に出発
します。是非ご利用下さい。



スピーカーのご紹介

H31 年度新男

まつ もと しゅう き
松本 宗己 様

◎テーマ

「神男を終えて」

◎プロフィール

平成3年9月5日生まれ
平成22年3月 愛知県立一宮南高等学校卒業
平成26年3月 名城大学 理工学部 卒業
平成26年4月 尾西建設協同組合入社



◎お誕生日おめでとうございます

9月7日 L 国 本 実
8日 L 長 田 太
10日 L 矢 田 賀 也
17日 L 浅 井 重 宣
29日 L 後 藤 泰 司



◎ LCIF \$1,000寄付ありがとうございます

L 中 川 幸 男 (4)
L 石 黒 薫 (10)



4 回理事会報告

と き 2019年8月27日(火)11:00

ところ 一宮商工会議所ビル 402

出席者

L 佐藤(彰) L 中川 L 高橋 L 久保 L 山中
L 佐藤(正) L 中沢 L 石黒 L 青山 L 伊藤
L 野村(政) L 戸崎 L 坪内 L 吉田

議題

1. 日帰り例会 (8/7) 決算報告

計画委員長 L 中川幸男より

今回の日帰り例会参加のお礼と、決算が報告され、承認されました。

2. 3R1Z・2Z 合同第1回ガバナー諮問委員会 (8/9) 報告

会長 L 佐藤 彰より

3R1Z・2Z の ZC、R 役員、各クラブの会長、幹事、第一副会長が出席され今年度の活動方針の発表が行われました。また今年度のガバナー目標として、①年間会員純増 10% ②MJF 寄付金 145 万 \$ 以上が発表、報告されました。

その他、各大会行事の日程確認がありましたと報告。

3. 4LC 会長・幹事会 (8/9) 報告

会長 L 佐藤 彰より

①9/19 ガバナー公式訪問例会のスケジュール確認

②中日新聞社より、9/21 掲載予定の一宮市産業体育館のリニューアル紹介記事の広告依頼があり、4 LC で合同にて掲載するかについて、各クラブにて検討。理事会協議の結果、今回は掲載する方向とする。

4. 3R 第1回家族及び女性活性化 (FWT) 委員長会 (8/19) 報告

会員増強・会則 FWT 委員長 L 石黒 薫より

3R、各クラブの今年度の基本方針、活動計画が発表され、具体的には

- ①ヘッドネーションについて知って頂くための活動
- ②家庭内にある外貨コインを集めて小児がん基金へ寄付するの願いがありましたと報告。当クラブとして今後、チラシを用意し例会報に入れ、会員に案内する事とします。

5. チャリティーゴルフ準備委員会 (8/27) 報告

親睦委員長 L 久保辰也より

現在の進捗状況について、

- ① 協賛金については現在 50 口
- ② 賞品については家電を中心とし作成
- ③ プログラム及び収支予算について修正箇所確認等が行われたと報告されました。まだまだ予定

人数には達していない為、協賛共に、引き続きご協力をお願いしますと報告。

次回 9/19 10:00 より

6. その他

- ・愛西 LC ゴルフ (9/9) 蟹江 LC ゴルフ (9/18) 津島 LC ゴルフ (9/26) 334-A 地区 LCIF 親睦ゴルフ (11/18) について
親睦委員長 L 久保辰也より参加メンバーの募集、確認が行われました。
- ・世界ライオンズ奉仕デー「薬物乱用防止キャンペーン」について
今年度の開催日を 10/4 とし、案内を入れますと確認しました。
- ・2020 年第 7 回スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム IN 北海道について
キャビネットより案内があり、希望者は事務局まで。
- ・理事会でのオブザーバーについて
今期、商工会議所小ホールでの理事会開催時に、希望者に理事会を見学できるようにしてはどうかの意見があり第 8 回理事会 (10 月第 2 例会前開催) を希望者に見学可能とする事とした。
- ・若手リーダー育成研修会について
会長 L 佐藤彰より、ZC から 11 月に開催される研修会について、一宮 LC から 1 名の参加依頼がありましたと報告。

お知らせ

小児がんの子供たちへの寄付について

今年は 334 複合地区よりダンスに眠っている外貨コインを集め、小児がんの子どもたちに寄付をします。どの国のコイン、紙幣でも構いません。
是非、寄付をお願いします。



第 1509 回例会アテンダンス報告

会員数 205 名 家族会員 104 名

例会出席対象会員数 101 名

出席者 61 名 (メーク・アップ 1 名)

出席率 62%

一宮市中学生英語スピーチコンテスト

と き 2019年8月25日(日)10:00

ところ 一宮商工会議所ビル 大ホール



まずは、本事業に携わっていただきました子供たち、保護者の皆様、来賓の皆様、そして一宮ライオンズクラブメンバーすべての方がたに感謝を申し上げたいと思います。

佐藤会長の想いの元、一宮市に在住、在学の中学生に『英語を使って発表する場を設け、英語による表現力の向上と国際感覚を養う手助けになる』ことを目的に開催させていただきましたが、すべての子供たちから【良かった】とのお褒めの言葉をいただくことができました。



開催当日を迎えるまでの間、スピーチの原稿作成に時間を費やし頭を抱え、ご両親と必死に練習し頑張ってきたかと思います。

子供たちからは、

『両親と一緒に一生懸命取り組むことができました』

『緊張することなく話せた』

『また開催してほしい』

『自分の成長に役に立った』などと、子供たち自身が自分の成長を感じることができた時間であったことを聞くことができました。と同時に我々ライオンズクラブメンバーが一宮市に暮らす子供たちの成長を間近に感じ、そのうえで家族との絆、挑戦することの重要性、そして未来への可能性を感じることができた貴重なアクティビティとなったと実感することができたことは言うまでもありません。

表彰の際の悔しがる子供、喜ぶ子供、そして泣いて両親に感謝する子供などさまざまな想いが今後世界で活躍することになるであろう子供たちの貴重な経験になってくれていれば幸いです。

ひとつの事業がこれほどまでの経験を作り、仲間を作

りそして感動を作り上げる。

私たち一宮ライオンズクラブメンバーの誇りにもなったことと思います。

結びとなりますが、当日参加していただきました子供たち、保護者の皆様、来賓の皆様方、協力業者の方々、そしてライオンズメンバーの皆様本当にありがとうございました。

心より感謝を申し上げ事業報告とさせていただきます。

LCIF・国際関係 YCE 委員長 土本和佳 記



会員投稿欄

フーン！！

フーン。ホー。へー。

中学生英語スピーチコンテストに興ふんした。当節の中学生はこのレベルに達しているのか。。このパフォーマンスはなんぞよ。

参加者それぞれ努力をしたであろうけれどその固さがない

見るかぎり肩に力が入っておらず表情に余裕がある。楽しそうに発表する姿に魅入るばかりである。

それだけに終わらず、若者の

するどい視点で訴える

テーマにいたっては私たちが

も同感。本当に彼らの思う

いい世の中になってほしい

ものです。

スマートに進行するこのア

クティビティはどこま

でも格式が高い。



大島八重子



第43回献血奉仕例会

第1509回例会報告

とき 2019年8月28日(水) 10:00
ところ オリナス一宮



あいにくの雨の中、献血奉仕例会に沢山の方々にご参加、ご協力をして頂き、ありがとうございました。来場者数 269名、献血できた方が 156名、骨髄バンク登録者 14名の人数を集めることができました。

今回、私自身初めての委員長ということで、不安や心配がありました。ライオンズの先輩方に支えられ、なんとか無事に献血奉仕例会を終えることができました。

目標人数は 400名を目指しておりましたが、人数の方が振るわず、誠に申し訳ないという気持ちでいっぱいです。

今年度の献血奉仕例会での問題点や改善点を、次年度に活かせるよう残りの任期頑張りたいと思います。

献相員・献腎・献血・骨髄移植推進・聴覚・糖尿病予防委員会委員長
坪内章浩 記



▲ 20,500人目 永井 千穂さん

活動するライオンズ

初めてのヘアドネーション 7歳の長女が髪の毛を提供
群馬県・前橋中央ライオンズクラブ



前橋中央ライオンズクラブ（中野泰久会長/84人）は今年2月、奉仕活動の幅を広げ、小児がんや事故などで髪の毛を失った子どもたちを支援するために、ヘアドネーション支部（立谷香織支部会長/7人）を結成しました。支部結成に加わってくれたのは、前橋市内の美容室アトリエ2,23（アトリエ ドゥー・ドゥー・トロワ）の皆さんで、今年からヘアドネーション賛同サロンとして活動をされています。ヘアドネーション支部では、小児がん支援の啓発活動と髪の毛提供の仲介を行います。ヘアドネーションは、寄付された髪だけで作ったメディカル・ウィッグを、頭髪に悩みを抱える18歳以下の子どもたちに完全無償提供している

日本で唯一のNPO法人JHD&C（ジャーダック）を通して実施。具体的には美容室のお客様にヘアドネーションの意義を説明し、賛同して頂ける方の髪の毛（31cm以上）を基準に従ってカットしJHD&Cへ送ります。これまでもヘアドネーション自体への認識はありましたが、支部結成によって多くの子どもたちが医療用ウィッグを必要としている現状を知りました。そして、この問題を家族で話し合い、長女がヘアドネーションをすることになりました。



7歳になる長女には、半年くらい時間をかけて少しずつ説明し、彼女も「お友達役に立ちたい」という気持ちが徐々に芽生えてきました。幼少期にヘアドネーションというアクティビティに参加出来たことは、親にとっても子どもにとっても、良い学びと経験になったと思います。ヘアドネーションを行うと決めてから、いろいろな方と話す機会があり、ヘアドネーションの認知はあっても、「どれくらいの長さが必要なのか」「どこで切ってもらえるのか」「どのような手順で行われるのか」「やりたくても、きっかけがなかった」など、多くの声を聞くことが出来ました。ヘアドネーションの啓発とライオンズクラブの活動に少しでも役立てば幸いです